GID/トランス全国交流誌
2019

GID/トランス当事者全国交流会 2019　有志実行委員会

編集・発行

https://peraichi.com/landing_pages/view/gidkouryu2019

GID／トランス全国交流誌 2019 発行にあたって

GID（性同一性障害）に関する診療や研究を行っている医師や研究者の研究発表やトランスジェンダー当事者グループの活動報告等の場として、GID 学会研究大会が毎年開催されています。その開催にあわせて、研究大会開催地で活動している当事者グループ等が、GID 関連の当事者団体などの活動を紹介する冊子「全国交流誌」を発行することがこれまでの慣例になっています。なお、GID 学会研究大会は学術団体である GID 学会が主催、運営しているのに対し、「全国交流誌」は研究大会開催地の当事者団体等が発行するもので、それぞれの主体は異なり、基本的に両者の間に関連はありません。

2019 年は岡山大学病院ジェンダーセンター長の難波先生の主催で、岡山県医師会館において GID 学会第 21 回研究大会が開催されますが、それに合わせて、岡山で活動している当事者団体である「岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会」と「プラウド岡山」のメンバー有志を中心とする「GID/トランス当事者全国交流会 2019　有志実行委員会」がこの「全国交流誌」を発行しました。

今回、わたしたちの実行委員会で「全国交流誌」を発行するにあたり、「全国交流誌」の意義について考えました。現在、性同一性障害に対しては診断、ホルモン療法、手術療法といった医療的な道筋が整い、一定の要件を整えれば戸籍変更も可能となりました。また 2018 年 4 月より乳房切除術を含む性別適合手術の保険適用が認められることとなりました。（「保険」については混合診療の問題があり、完全な保険適用になるにはホルモン療法の保険適用が求められます。）このように 20 年前と比べるとずいぶんと生きやすい環境が整ってきました。とは言うものの、医療や法的な整備では解消しきれない困難や問題を抱えている当事者も、いまだ少なくないことと思われます。また、年若い当事者にとって、自分自身を認めることは難しいことであるかもしれません。そのような当事者の受け皿として、当事者グループによる自助支援活動や支援グループによる活動は大きな意義を持っているものと思われます。

しかし、当事者グループや支援グループを必要とする人が、必要とする情報に的確にアクセスすることは、必ずしも容易とは言えないかも知れません。インターネット上にグループのウェブサイトを開設して、活動状況や連絡先を掲載しているグループが多いこととは思います。しかし、全国各地で活動している当事者グループ、支援グループをまとめて紹介しているウェブサイトは見当たりません。インターネット上で検索をかけることで、複数のグループを見出すことはできるでしょうが、必要としている人が最寄りのグループを必ず見つけ出せる状況といえるかどうかには疑問が残ります。

そこで、各地で活動をしている当事者グループ、支援グループの紹介が「全国交流誌」として一つの冊子にまとめられていれば、当事者グループ、支援グループを必要とする当事者、家族などにとって有益であるものと思われます。また、学校や医療、行政などの関係者が、当事者などから相談を受けた際にも、参考にしていただけるものと思います。さらにグループ同士の交流のためにも有用であるかと思います。

さて、以上のように「全国交流誌」の意義を考え、全国各地で活動されている当事者グループ、支援グループ、映画祭、イベント等の主催者に原稿の寄稿のお願いをお送りさせていただきました。

当初、全国各地で活動しているグループを網羅しきることは難しいのではないかと思われました。
そこで、昨年の「GID 全国交流会有志実行委員会」の代表をされていた遠藤まめたさんに広報の協力をお願いしました。その結果、約 65 グループに原稿のご寄稿のお願いをお送りさせていただくことができました。

そして最終的に 31 グループからの原稿のご寄稿をいただき、この「全国交流誌」を作成することができました。原稿をご寄稿いただきましたグループの方々、大変ありがとうございました。

この冊子が、GID／トランス当事者、当事者グループ・支援グループの運営者、医療施設や自治体をはじめとする関連機関の方々のお役に少しでも立てれば幸いです。

２０１９年３月

GID/トランス当事者全国交流会 2019　有志実行委員会

代表　野原　ナオコ

全国交流誌担当　ざっきー

＜目次＞

東北

青森　スクランブルエッグ
秋田　性と人権ネットワーク ESTO

関東

栃木　S-PEC
東京　ex-T's Kitchen
東京　カラフル@はーと
東京　gid.jp　日本性同一性障害・性別違和と共に生きる人々の会
東京　性同一性障害支援機構
東京　10 ストーリーズ
東京　にじーず
東京　日本セクシュアルマイノリティ協会
東京　バイセクシュアルの交流会
東京　レインボー東京北区
神奈川　SHIP

甲信越・北陸・東海

石川　レインボー金沢
愛知　TTS ファミリー

関西

京都　きょうとイロ
大阪　ありまま
大阪　G-FRONT 関西
大阪　虹色ダイバーシティ
大阪　まんまるの会
兵庫　LGBT の家族と友人をつなぐ会
兵庫　そらにじひめじ
奈良　レインボー奈良カフェ
和歌山　チーム紀伊水道
関西　関西クィア映画祭

中国・四国

鳥取	feel good
岡山	岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会
岡山	プラウド岡山
香川	プラウド香川

九州

熊本	くまにじ
熊本	ともに拓く LGBTQ+の会くまもと

スクランブルエッグ

スクランブルエッグは、性の多様性や性的マイノリティについて知ってもらうため、
2008年11月から青森県と近隣地域で活動している市民サークルです。

● 活動の方針

性的マイノリティの人たちはおかしなものではないこと、ごく身近なところで一緒に生きていることを、地域の人たちに知ってもらうための活動をしています。

「無理せず、楽しく、できることを」をモットーに、参加している人にとってもプラスになる活動を目指しています。

● 参加メンバー

性的マイノリティの当事者と、その友人などの応援する人たちが参加しています。年齢や職業も様々です。(2019 年 1 月現在、会員数45 名)

● 主な活動内容

☆ 情報の発信

ホームページやSNSを通じて、サークル関連イベントの告知や活動報告を行っているほか、年2～3回発行している情報紙では、メンバーが執筆した記事やインタビューなども掲載しています。

☆ 啓発イベントや講師派遣

多様な性の当事者の声や応援のメッセージを展示紹介する「IDAHO メッセージ展」や、パネル展参加など年に数回の啓発イベントの他、各種研修会やシンポジウムに講師・スピーカーとしてお声がけいただき、性の多様性についての基礎知識や当事者としての体験などをお話しし、性的マイノリティが身近な存在であることを知ってもらうための活動をしています。

☆交流会の開催

2018年度からは小規模な交流会を開催するなど、居場所や自分探しの場づくりを始めました。

【お問い合わせは…】

スクランブルエッグ　青森　検索

ホームページのお問い合わせフォームから、またはメールにてご連絡ください。

スクランブルエッグ公式サイト　http://gochamazetamago.main.jp/
E-mail　gochamazetamago@yahoo.co.jp

ESTO

性と人権ネットワークＥＳＴＯ

Sexualities and Human Rights Network ESTO

発足 *1998. 10. 25*

『セクシュアリティの尊重とジェンダーの平等を目指して』

ESTO は、1998 年に秋田で発足し、性別違和／トランスジェンダー、性分化疾患／インターセックス、同性愛／レズビアン・ゲイ、両性愛／バイセクシュアル、アセクシュアルなどの人達を対象としたサポートと、すべての人がその性の在り様に関わらず存在(Est)を尊重(Esteem)されることを願い、人と情報の交流によるネットワークづくりを目指している全国を対象とした非営利活動団体です。

〝多様な性〟についての理解を進めるため、交流会・講演会・ワークショップの開催、E-MAIL・電話・面談による相談、メールレターの発行、行政への要望書の提出などを行っています。

ESTO のイベント

秋田は毎月第 4 日曜、**宮城**では隔月の第 4 日曜に定期交流会を開いています。

地域ミーティングって？

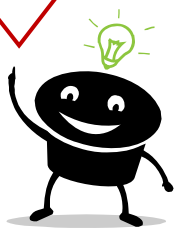
秋田・宮城で、年 2 回のテーマを決めたミーティングを開いています。相談や交流、情報交換の場となっています。

その他！栃木の S-PEC と共催で年 1 回の講演会を開いています。

ユースや保護者のサポート！

秋田と**宮城**は、東北 LGBT ユースサポート「サークル・カメレオン」、**岩手**は「こどものセクシュアリティを考える親の会」の交流会をやってます。

男女共同参画社会推進や自殺防止、災害時の支援を考えるワークショップや講演会を開催しています。



助成事業では！

お問い合せは→

開催日や会場などの詳細を WEB や SNS でお知らせしています！！

Twitter@esto90700747

Facebook@estonet

〒010-8691　郵便事業(株)秋田支店 私書箱 32 号　ＥＳＴＯ

E-MAIL esto@estonet.info　　FAX　050-1450-6768

TEL　080-6049-8843（電話相談・イベント受付用）

電話相談：平日 20:00～22:00　　土日祝　13:00～22:00

※番号を通知して、お掛けください。着信専用のため、留守電のときはお掛け直しください。SMS には返信できませんので、ご注意ください。

http://estonet.info/

http://ameblo.jp/estonet/

S-PEC（えすぺっく）
LGBT当事者と家族・友人のためのとちぎのコミュニティ

Sexuality
Peace
Equality
Community

S-PEC（えすぺっく）は、栃木県宇都宮市を中心に活動するLGBT当事者とその家族・友人のための支援団体です。
2006年に性同一性障害についての講演会を開催したのをきっかけに、
現在では、LGBT当事者や家族などの交流会や講演会を開催しています。
交流会に参加してみたい方や、活動に参加してみたい方、ご相談のある方は、お問合せまでご一報ください。

- 参加者は、**当事者、当事者の家族・友人、支援者**です。**自分がどんなセクシュアリティかわからなくても安心して参加できます。**年齢や職業は問いません。カミングアウトをして参加するかどうかも自由です。
- 教育、医療、福祉などの現場で働く方で、性の多様性に配慮した支援に関心がある方の参加も歓迎しています。

悩みを抱えている方、相談してみたい方、身近に当事者がいらっしゃる方などのご参加をお待ちしています。

活動内容

- **２～３か月に1度の交流会**
- **年1～２回の講演会・勉強会**
- **個別相談**
  （主にお話をお聞きする）
- **講演等による啓発活動**

お問合せ

E-mail	spec.info123@gmail.com
Twitter	@S_PECtochigi
Facebook	@spec.tochigi
web	http://s-pec.jimdo.com/

自助グループやってまーす！ ex-T’s Kitchen

ex-T’s Kitchen は 性別移行を 人生のさまざまな出来事のひとつとして考える性的少数者 および疾患のある人のための自助グループです。

生まれたときと違う性別で生きる理由（TG GD ＸＡＩＮ その他疾患等）を問いません。

集まった人達で 順番に自分の思いを話し、ほかの人がそれをコメントせずに聞く。

そんな集まりです。

質問「 **それだけで、どんな効果や意味があるの？** 」

答え「 **自分の思いを言葉にすること。** 」

1. 自分の感情（自然に心の中に わき起こる思い）を言葉にして ありのままの自分を見つめることで、ふだん自分では気づかない考え方のくせから 自分を解放することができるでしょう。（参考 wikipedia:ja:認知療法）
2. 自分の思いを言葉にすること」をみんなで行うことで 自分の考え方もたくさんのうちの一つに過ぎないこと気付き 孤独（こどく）感が癒（いや）されるでしょう。（参考 wikipedia:ja:集団認知療法）

「 T’s 」と謳（うた）っていますが 、**ご自身が性別移行したいのかどうかわからない・性別移行したくない と考えていらっしゃる方も歓迎**いたします。（言語による制限もありません multi languages in welcome ）

主な活動場所: 東京都 JR 大崎駅 近郊

連絡先

Twitter: http://twitter.com/ex_Ts_Kitchen

ウェブサイト: https://forth-kitchen.hatenadiary.jp/

担当: 樋口

精神疾患や発達障害を抱える LGBT のための自助グループ

カラフル a はーと

『カラフル＠はーと』は **LGBT 当事者で精神疾患、発達障害、依存症(アルコール、薬物、性行動)の問題を抱える方**のための、自助グループです。

現在、主に**新宿区、中野区、杉並区**で当事者同士の交流会**「カラフルミーティング」**を実施しています。また、LGBT のメンタルヘルスに関する他団体との連携、各所への働きかけなどを行っています。

＜カラフルミーティング(自助会)にご参加いただける方＞

L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダーほか、
X ジェンダー、パンセクシュアル、性分化疾患、クエスチョニング、A セクシュアル、ノンセクシュアルの方などセクシュアル・マイノリティの方に広くご参加いただけます。

＜カラフル＠はーとからのお願い＞

カラフルミーティングは、当事者のみが集まる交流会で、専門の医師・カウンセラーは同席しません。精神的に不安定な方は、治療を進めて安定してからお越しください。
みなさんが安心して参加できるミーティングになるように、ご協力をお願いいたします

＜他団体との連携･各所への働きかけ＞

相談機関や他の LGBT 団体、医療機関との連携、行政や医療へ理解を求めるための働きかけなどを行っています

＜参加年齢について＞

18 歳以上（高校卒業）の方を対象にしていますが、不明な点はお問合せください。

Website:	http://lgbtcath.com/
Mail:	lgbtcolourfulheart@gmail.com (お問い合わせのみ)
Twitter :	https://twitter.com/LGBTCatH
Facebook:	https://www.facebook.com/LGBTCatH/

gid.jp

Gender Identity Disorder/Gender Dysphoria
日本性同一性障害・性別違和と共に生きる人々の会

gid.jp は、性同一性障害（およびその後継概念）の当事者や出生時に割り当てられた性別に違和感を持つ方、そのご家族・パートナーの方など関係者のみなさんのための会です。

私たちは、性同一性障害（およびその後継概念）の当事者の方や出生時に割り当てられた性別に違和感を持つ人、そのご家族やパートナーの方などの関係者などのみなさんが、心配なく笑顔で暮らせるように様々な支援活動を行っていきます。また、当事者が差別や偏見を受けることなく、ひとりひとりがかけがえのない個人として尊重される社会環境や法制度の整備をめざします。

優先的に取り組む課題

以下の項目に関し、当面優先的に取り組んで参ります。

1. 性同一性障害のホルモン療法に対する健康保険適用の推進
2. 性同一性障害特例法改正の推進
   - 第３条１項３号「現に未成年の子がいないこと」条文の削除の実現。
   - ICD−11 発効による名称変更に対する対応
   - 結婚や転籍などにより新戸籍が編制されても、戸籍の身分事項に必ず記載されてしまう「平成 15 年法律第 111 号３条による裁判発効日（確定日）」の記載の削除
3. 性同一性障害・性別違和医療拡充の推進
4. 性同一性障害当事者の就労環境の改善および基盤整備
5. 子どもの性同一性障害当事者の学校における対応の更なる改善

2018 年９月19日

高木厚生労働副大臣と面会

2018（平成30）年９月19日、gid.jp は、日本精神神経学会、GID（性同一性障害）学会と共に高木厚生労働副大臣と面会し、ホルモン療法の健康保険適用や就労環境の改善に関する要望書を提出いたしました。

連絡先
contact2019@gid.jp

※ gid.jp ドメインを使用できるのは当会のみです。
類似名称にご注意ください。

NPO 法人 性同一性障害支援機構

私達はこんな活動をしています！

年に数回ワークショップや勉強会、ご依頼研修や講演・講座といった啓発活動の傍ら、性同一性障害者や当事者家族/パートナー/支援者/教員までを含めた情報交換の場や交流会を開催し、GID 当事者の心の相談や就職の相談、性別適合手術に関する相談に応じています。

また、「誰もが互いを認め合い共に生きられる社会」を目指して、性同一性障害者が抱えている現状の問題解決に繋がる包括的な支援に力を入れている団体になります。

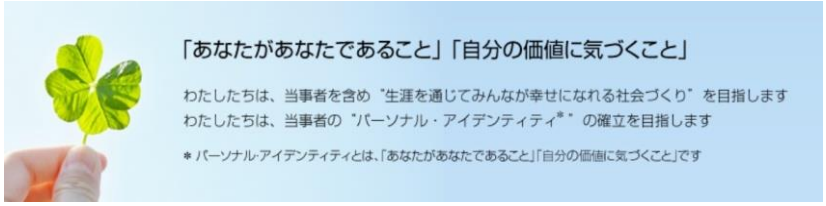
ホームページ：http://www.npogid.or.jp

Facebook：http://www.facebook.com/npogid

LINE：@bwq3145j（@を入れて ID 検索をしてください）

問い合せ先：info@npogid.or.jp

性同一性障害支援機構
@bwq3145j



10ストーリーズ
（大正大学カウンセリング研究所）

内　　容：まだ自分のセクシュアリティに気づいて間もない人や、他の人の話を聞きながら、自分自身のセクシュアリティについて考えたいという人が、学校や家では話せしにくいテーマを自由に話したり、聞いたりする場

年　　齢：15歳（高校生）～25歳

ｾｸｼｭｱﾘﾃｨ：セクシュアリティ・ミックス

- 同性が好きな人、同性も異性も好きな人、恋愛感情がない人
- 性別に違和感がある人
- 自分がセクシュアルマイノリティかもしれないと感じている人

スタッフ：臨床心理士、大学院生（ ※スタッフは当事者でない者も参加します ）

開 催 日：土曜か日曜の午前・午後の中で月ごとに決定

場　　所：大正大学（東京都豊島区）

最寄駅　都営三田線「西巣鴨」徒歩3分　JR埼京線「板橋」徒歩12分

参 加 費：無料（アンケートのご協力をお願いします）

10ストーリーズ
（mix：15-25）
お話グループ

10スト：レク
（mix：15-25）
お菓子作り
映画鑑賞

10ストーリーズforB
（バイonly：15-40）
バイ・パンセク限定
お話グループ

GID/トランス当事者全国交流会2019の開催、心よりお喜び申し上げます。
東京にある大正大学カウンセリング研究所が運営する、10ストーリーズです。
2015年11月から、セクシュアルマイノリティの若年層の当事者支援の活動を続けています。

セクシュアリティはミックスなので、性別に違和感を抱える人だけではなく、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、エイセクシュアル、パンセクシュアルなど、性的指向のマイノリティ、まだ自分のセクシュアリティがよく分からないという方も参加します。

十人十色、同じトランスジェンダーといっても、人それぞれ異なる人生を歩み、異なる物語を生きていると思います。安心して自分自身を振り返る場を提供できるよう、これからも活動を続けようと思っています。性別の違和感と性的指向を同列に扱うことはできませんが、どこか共有する思い、感覚、生きにくさ、あるいは、楽しさといったものがあると感じています。「同世代の仲間に会ってみたい、話をしたい、話を聞いてみたい」。どんな参加理由でもかまいません。ご関心のある方はぜひご参加ください。

詳細は、ツイッター　@10stories_tais　をご確認ください。
皆さんの、そして、GID/トランス当事者全国交流会のますますのご発展をお祈りします。

10 代～23 歳までの LGBT（そうかもしれない人を含む）のための居場所

にじーず

◎ にじーずオープンデーとは？：

◆月に一度、土日の午後に場所を解放し、10 代～23 歳までの LGBT（そうかもしれない人を含む）が集まれるようにしています。

◆ 参加費無料　＆　若者限定！　いつ来ても、いつ帰っても OK です。

◆ 同世代の友達を作りたい人、自分と同じ／ちがうセクシュアリティの人と話してみたい人など、ぜひ遊びに来てください！

◆ 2019 年 3 月から札幌にじーず、4 月から埼玉にじーずがスタートします！

◎ 開催場所：

◆ 池袋にじーず→東京都 HIV/AIDS 啓発拠点ふぉー・てぃー（池袋保健所 1 F）
（東京都豊島区東池袋 1-20-9／JR 池袋駅東口 徒歩 5 分）

◆ 札幌にじーず→Youth+（ユースプラス）センター
（札幌市中央区南 1 条東 2 丁目大通りバスセンタービル 2 号館 1F／
地下鉄バスセンター前駅 3 番出口 徒歩 3 分）

◆ 埼玉にじーず→With You さいたま
（埼玉県さいたま市中央区新都心 2-2／
JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線さいたま新都心駅 徒歩 5 分）

◎ お問い合わせはこちら（オープンデー開催日時は HP と Twitter で随時更新中！）

◆ メール：24zzzmail@gmail.com

◆ HP：https://24zzz.jimdo.com/

◆ Twitter：池袋&埼玉にじーず→@24zzztw　　札幌にじーず→@s24zzz

15 YEAR ANNIVERSARY

すべての性に、ひとりじゃない安心を

日本セクシュアルマイノリティ協会

JLGA JAPAN Lesbian,Gay,Bisexual,Trans and Intersex Association

わたし達は、
2005 年から活動をはじめて、15 年目
「すべての性に、ひとりじゃない”安心”を」
の実現をめざし、非営利の公益活動を
続けている団体です

活動のご紹介

にじの相談窓口

さまざな悩みや相談をお聞きしています。スカイプを利用しているので地域とわずご利用頂けます。
（1 回 30 分　無料）

講演会の開催

こどもに正しい知識を伝える活動として、講演会を開催しています。体験談などもお伝えしています。

交流会イベント

BBQ や Bar イベント、脱出ゲームなど、みんなで楽しみながら交流できるイベントを企画運営しています。

イベント情報は、
公式ホームページをチェック！
https://jlga.or.jp/

ボランティアメンバーを募集しています

● ボランティアの目的

当協会では、ボランティアメンバーを『アクティブメンバー』と呼んでいます。
アクティブメンバーとは、みんなで、楽しく、積極的に活動し、お互いの関わりの中で共に、学びながら成長していくことを目的にしたボランティアです。アクティブメンバーの活動が、ひとつの居場所になったらいいな、と考えています。活動が『生涯学習』とも言える学びの場所となっており、メンバーが生き生きとありのままの自分で活動できる雰囲気です。

アクティメンバーへの参加はこちらから。
メンバー紹介や活動の様子も紹介しています！

https://jlga.or.jp/blog/volunteer_contact

アンケート回答をみなさまにお願いしています

LGBT 当事者の皆様の声を社会に届けることで、より良い社会の実現と改善を目指していけたらと考えました。
これらを実現するために、協会では今後定期的にみなさまにアンケートやインタビューを実施いたします。みなさまご協力お願い致します。
https://jlga.or.jp/blog/questionnaire

LGBT の職場環境に関するアンケート

バイセクシュアルの交流会　団体説明

2018 年 3 月版

1. はじめに

当交流会は、バイセクシュアルとパンセクシュアル当事者と継続的なコミュニティを形成する為に 2017 年 9 月に　舟川りほ　が言い出す(主催)形で発足した団体です。

2. 発足の経緯

パンセクシュアルを自認している主催は当事者の継続的なコミュニティがないことに気づき、当初はパンセクシュアルのコミュニティを作ろうと思っていたが、その前にバイセクシュアルのコミュニティがないことを知り、バイセクシュアルとパンセクシュアルの当事者や当事者の可能性がある方が定期的に集まれるコミュニティを発足するに至った。

3. 活動内容

主な活動内容としては GW とアメリカを中心にバイセクシュアルの日とされている 9 月 23 日と冬場の年 3 回のペースで交流会を開催しています。日時は不定期ですがほぼ毎回 15 人程度集まって頂き盛況を頂いております。テーマは特に設けずその日の参加者にお任せしています。

4. 今後の展開と希望

交流会としての展開は 2019 年の東京レインボーパレードにバイセクシュアルのフロートは恐らく史上初となるフロートを出します。今まで LGBT の中でも実態がよく分からないとされてきたバイセクシュアルとパンセクシュアルの当事者コミュニティをとにかく続けることを前提にしばらくは進めたいと思っています。

将来的な希望としては、各地で交流会を開催出来たらと思います。会の名前に権利はないので開いてくれる方大歓迎です。

今後とも当交流会をよろしくお願い致します。

交流会の皆様との写真と共に。

バイセクシュアルの交流会　言い出しっぺ(主催)

舟川りほ

ayumu.kitaroji@gmail.com

Rainbow Tokyo 北区

東京都北区で、LGBT関連の施策含めダイバーシティを推進する団体です。
性別、年齢、また、国籍や文化、障害の有無など、
人と人との「ちがい」を認め尊重し、多様性あふれる地域社会、
豊かで明るい未来を目指します。

定期的にイベント、交流会＆勉強会を開催しています。
活動拠点：スペースゆう（北区男女共同参画活動拠点施設　北とぴあ5階）

北区在住・在勤・在学はもちろん、区外の方の参加も大歓迎です！
関心のある方は、ぜひ気軽にご参加ください！

【お問い合わせ】
メール：rainbowtokyokita@gmail.com
ホームページ：rainbowtokyo.wixsite.com/kitaku
フェイスブック：Rainbow Tokyo 北区
ツイッター：@rainbowkitaku

LINE@の登録はコチラから

（認定）特定非営利活動法人 SHIP

SHIP は、セクシュアルマイノリティの人々が、自分らしく心身共に健康でいられるための支援と、多様性が尊重される社会の実現を目指して活動しています。

＜T-LOUNGE SHIP＞　性別に違和感のある人のイベント、月に１回開催中！

毎回テーマを設定し（カミングアウト、仕事、家族、周りとの付き合い方等）、前半はテーマにそって、後半は自由に話すスタイルで行っています。

2017 年度から隔月開催から毎月開催に変わり、多くの方にご参加いただいています。FTM/X, MTF/X それぞれのセクシュアリティの方が参加されますが、MTF や X ジェンダーの方が比較的多く参加しています。当事者イベントに初めて参加するという方も多くいらっしゃいます。1 回あたりの参加者は平均して 5～7 名程度と少人数です。スタッフは当事者もしくは理解のある者が担当しているので、実際に自分と同じような人と会ってみたい、みんなの話を聞いてみたい、イベント初参加、という方でも気軽に参加できるイベントです。参加希望の方は HP の申込みフォーム、または電話でお申込みください。

イベントの詳細は HP をご覧ください。＜HP＞　http://www2.ship-web.com

【参加対象】高校生から 30 代までの、性別に違和感がある方（まだ迷っている方も歓迎！）

※小・中学生には当会主催の 10 代向けイベントを紹介しています

【参加費】一般：1.000 円、高校生 300 円（飲み物、お菓子代）

※「T-LOUNGE SHIP」のほかにも、さまざまなセクシュアリティの方や、ご家族の方向けのイベントもあります。詳細は HP をご覧ください。

＜SHIP の主な活動内容＞

コミュニティ支援

1．コミュニティスペース「SHIP にじいろキャビン」の運営

週４日（水・金・土 16～21 時、日 14～18 時）「SHIP にじいろキャビン」をオープンしています。セクシュアルマイノリティの関連図書や全国各地の団体・イベントの情報を収集したり、来場者同士で自由に交流していただけます。セクシュアルマイノリティに理解のある方ならどなたでも予約なしでご利用いただけます。1 回の利用につき 300 円のご寄付をお願いしています。なお中学・高校（定時制・通信制を含む）に在学の方は無料です。

2．交流会、各種イベントの開催

同じセクシュアリティや年齢の人同士で交流できるイベントを開催しています。詳細は HP をご覧ください。

健康支援

1．ＨＩＶ・性感染症即日検査（月１回。予約制）

2．カウンセリング（月 6 回。有料・予約制）

3．SHIP ほっとライン（電話相談）　　TEL. 045-548-3980（毎週木曜 19 時~21 時）

みんなに届くネットワークづくり

さまざまなつながりをつくることにより、情報と支援が届きやすくするとともに、その人らしく暮らせる社会づくりを進めていきます。学校の教職員や生徒向け、また行政や各種相談機関等の職員向け研修を実施しています。

＜問い合わせ先＞

(認定)特定非営利活動法人 SHIP　http://www.ship-web.com
SHIP にじいろキャビン　http://www2.ship-web.com
〒221-0834 神奈川県横浜市神奈川区台町 7-2 ハイツ横浜 713 号室
TEL/FAX:045-306-6769 (水・金・土 16~21 時,日 14~18 時) E-mail: info@ship-web.com

レインボー金沢

【活動目的】

「レインボー金沢」は、金沢市とその近郊に暮らす、セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）のための人権団体です。2011年12月に設立されました。セクシュアル・マイノリティが平等で自分らしく生きることができるよう、活動しています。

【活動内容】

1. 交流会

金沢市内でセクシュアル・マイノリティ当事者のための交流会を定期的に開催しています（年3回程度）。当事者の方に、安心して楽しい時間をすごしながら仲間とつながり、気軽に相談もできる場を提供しています。トランスジェンダー、GID（性同一性障害）、Xジェンダー、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、パンセクシュアル、アセクシュアル、ノンセクシュアル、DSD（性分化疾患）、カテゴライズしたくない、わからない、など様々な方が参加されています。年齢も、10代から60代までと、様々です。

2. アドボカシー

石川県・金沢市・議員等に対して、セクシュアル・マイノリティを取り巻く施策の提案・改善のため様々な働きかけを行なってきました。

連絡先

E-mail: rainbow.kanazawa@gmail.com

Website: https://www.rainbowkanazawa.jp/

Twitter: @RainbowKanazawa

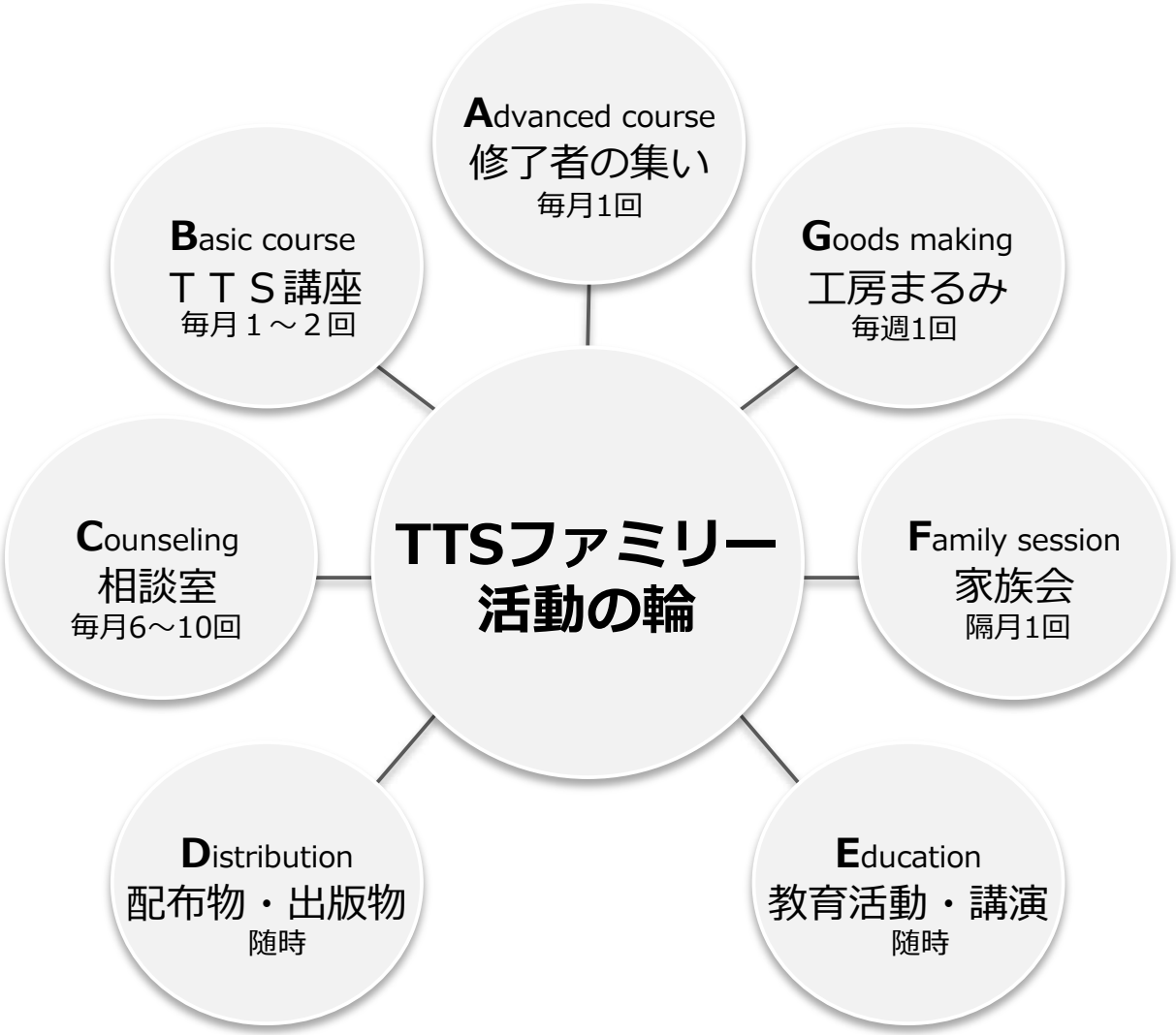
特定非営利活動法人

ＴＴＳファミリー

Tokai Trans Support Family

ー 自分らしさを求めて自分らしく生きたい ー

Since 1998



- 必ずみつかる あなたの望む治療 -

ＮＰＯ法人ＴＴＳファミリーは、中部地区を中心に活動をしており、医療・法律・雇用など
各分野の専門家がスタンバイし、各個人の悩みに合った体制を作ってあなたをお待ちしています。

特定非営利活動法人 ＴＴＳファミリー

〒４６０－００１２
愛知県名古屋市中区千代田３－３１－２２－３C
代表：松尾 かずな
ホームページ：http://www.tunagu.gr.jp/tts/index.html
メールアドレス：tts-net-admin@tunagu.gr.jp

ＧＩＤ当事者の方とご家族など身近な方のプライバシーを守り安心してご参加頂けるよう、当法人は会員制としています。入会に関するお問い合わせ・ご不明な点等ございましたらホームページをご確認くださるか、メールにてお問い合わせ下さい。

当法人のインターネット資源は、ボランティア団体／民間非営利組織（ＮＰＯ）をコンピュータの面からお手伝いしていくべく名古屋を中心に活動しているＮＰＯ法人つなぐねっとのサポートによって運営されています。

きょうとイロ

－今日から、京都から－

目的

特に”京都”において、ＧＩＤ（性同一性障害）※の相談、治療、交流及び情報発信の拠点の場をつくること。

主な活動内容

♪交流会「イロ会」

３か月に１回開催。形式は茶話会、講演など色々です。
お菓子を食べながら、まったりゆったりお話する会です。
当事者の方はもちろん、そのパートナー、家族、友人、職場関係者、支援者の方等にも参加していただきやすい会になっています。
JR 京都駅の近く（主にキャンパスプラザ京都）で開催しています。

♪個別相談

メールや面談での個別相談もしています。

★詳細は、ホームページをご覧ください。

きょうとイロ

ホームページ: http://kyoucolor.racms.jp/

メール: kyoutoiro520@yahoo.co.jp　←お問い合わせはこちらまで☆

Twitter、Facebook もご覧ください♪

※今後、GID 学会の変更に合わせて、名称を変更する予定です。

２０１９．２

セクシュアルマイノリティの当事者グループ

ありまま

こちらは”ありまま”というセクシュアルマイノリティ・LGBTの当事者グループです。セクシュアルマイノリティの方々で生きづらさを感じている方々が、自分自身を見つめなおし、人との触れ合いや、気持ちを分かち合う体験をしていくために作られたグループです。

もちろん、悩んでいない方でも参加 OKです。

「生まれながらにしての性別に、違和感を感じている」「性対象が、周りの人達と違うので、本来の自分を偽っている」などなど。そのために、生きづらくなったり、悩んだり、苦しくなったり・・・していませんか？

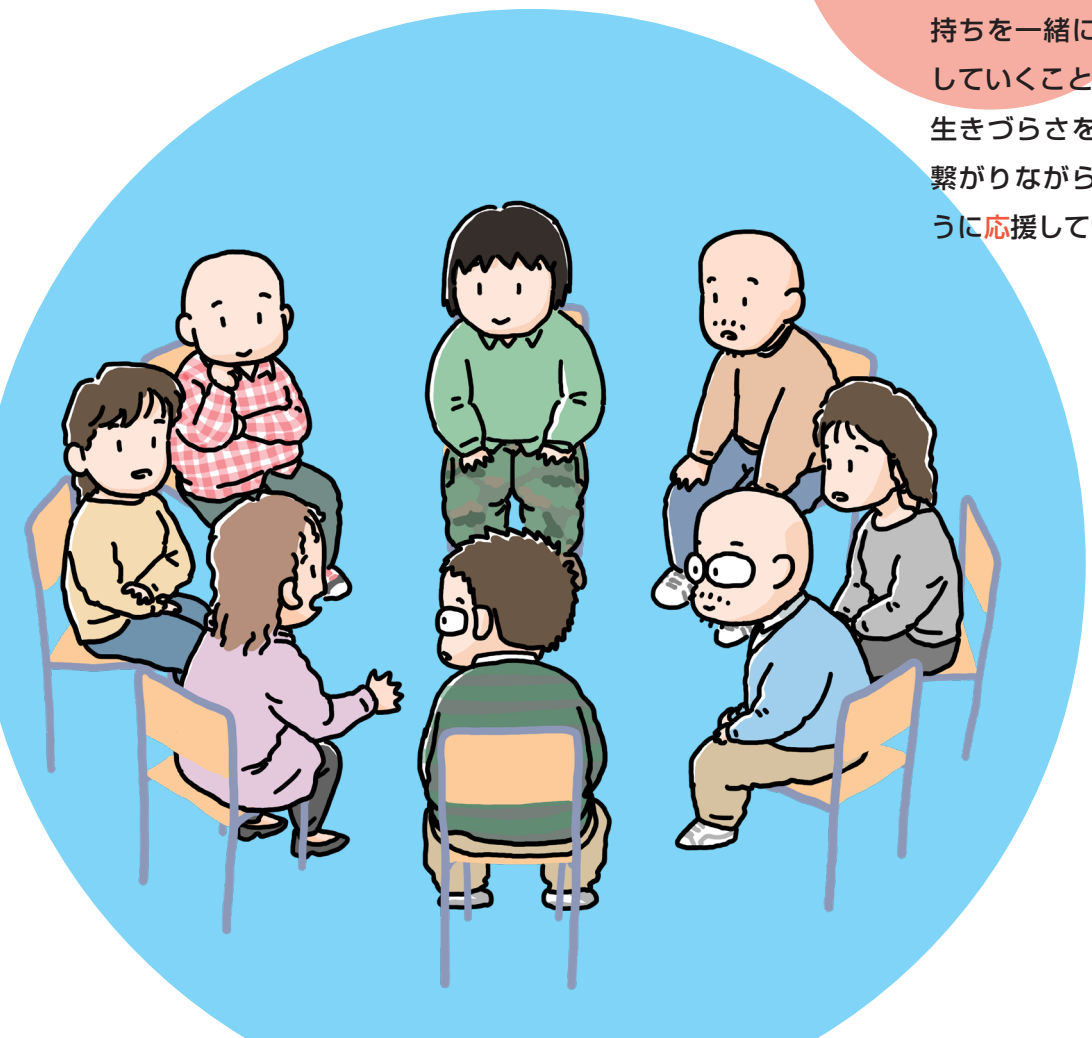
どんな性別、どんな性対象であっても、あなたは、あなた。かけがえのない人間です。

このグループのワークでは、ありのままの自分の気持ちなどを表現して、ありのままの他者をも受け入れる場所です。

そんな中で、寂しかったり辛かったり、嬉しかったり心地よかったり、そんな気持ちを一緒に共有し、自分を見つめなおしていくことや他者をも理解して、日常の生きづらさを解消し、イキイキと社会と繋がりながら生きて行くことが出きるように応援しています。

おおさか定例会

大阪市内の会場で、月に１回
10 名くらいが集まり、
4 時間のエンカウンターグループを
行なっています。
フリートークの場です。



詳しくはサイトをご覧願います

みなさまの参加をこころより
お待ちしています。

ありまま　検索

※検索しても多分たどり着けます。

ホームページへ

G-FRONT 関西

大阪市に事務所を置き、セクシュアル・マイノリティの人権を確立するための活動、並びにセクシュアル・マイノリティの交流を促進するための活動を行っています。
性別・性自認・性的指向・年齢などに関わらず、どなたでも活動に参加できます。
原則として予約は不要ですので、お気軽にご参加ください。

トランスサロン
トランスの人が関心を持つ話題でおしゃべりができる場です。GID の治療や戸籍変更、また暮らしについてのことや四方山話などが交わされています。（原則として第 4 日曜日の 15 時から）

説明会＆交流会
初めて当会に参加される方のために、会の説明を行ったり、参加された方同士や会員との交流のためのゲームなどを催したりしています。（原則として第 3 土曜日の 16 時から）

レインボー・セミナー
セクシュアリティやジェンダーに関するテーマについての勉強会です。取り上げたテーマとして「『生産性』をめぐって」「『LGBT ブームの嘘』を考える」などがあります。（原則として第 1 土曜日の 17 時から）

各種行事
講演会やクリスマスパーティーの開催、関西一円の名所の散策、大阪や東京で開催されているパレードなどのイベントへの参加などをしています。

出版物
ぽこあぽこ 15 号上巻「特集：性別というもの、こと」 性別違和を抱える人の体験談などを収録
ぽこあぽこ 15 号下巻「特集：性別というもの、こと」 トランスコミュニティの形成史、書籍紹介などを収録
ぽこあぽこ 21 号「特集：講演録」 当会で開催した東優子氏の講演録などを収録
各 500 円（送料手数料 300 円）

会費・参加費、活動日程、出版物などについては以下でご確認ください。
ホームページ： http://www5e.biglobe.ne.jp/~gfront/
ツイッターアカウント： @gfront_kansai
メールアドレス： gfront@muh.biglobe.ne.jp　　電話番号： 06-6302-6124

NIJIIRO DIVERSITY
特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

LGBTも働きやすい職場づくり
生きやすい社会づくり

虹色ダイバーシティは
LGBT等の性的マイノリティが働きやすい職場づくりを通じて
性的マイノリティとそのALLY（同盟者、支援者）をエンパワーし
すべての人々が生きやすい社会づくりを目指します。

2019 新冊子 発売！

職場における LGBT・SOGI 入門

最新のトレンド情報や企業事例など情報満載！
A4 サイズ、32 ページ、2019 年 2 月発行
500 円（税込）

虹色ダイバーシティ
通販ページ

トランスジェンダーと 職場環境ハンドブック

企業と LGBT に関する相談や質問のなかでもっとも多い、トランスジェンダーの従業員への対応に関する問い合わせ。三者の共同により、国内外の研究やアクティビズムに基づく知見や多くの企業事例、実際に働いているトランスジェンダーの人々の声を収録する実用書の出版を実現！
A5 判並製、200 ページ、2018 年 3 月発行
2,160 円（税込）

全国書店、
オンライン書店、
出版社ウェブサイト等で
発売中

Amazon
販売ページ

あなたの「知りたい！」に応える LGBT 情報番組

虹ステーション

YouTube チャンネル「虹ステーション」では、LGBT に関する基礎知識をわかりやすくお伝えしていきます。ひとつの動画は 3 分。「就活までに戸籍の性別を変えたいと言われたら」、「トランスジェンダー特有の困りごと」、「性別を変えて働きたいと言われたら」など、さまざまな動画を用意しています。

niji STATION

YouTubeチャンネル
虹ステーション

NIJIIRO DIVERSITY 特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ
http://nijiirodiversity.jp/
@nijidiversity
nijiirodiversity
講演、取材のご依頼、ご寄付などに関するお問い合わせはウェブサイトのお問い合わせフォームからお願いします。

私たちの憩いの場

まんまるの会

2019年2年

まんまるの会とは

「まんまるの会」とは、関西医科大学附属滝井病院ＧＩＤクリニックの受診者の会です。

当会は、受診者の交流と憩いの場を求めてスタートしました。

初めて来られる方にも安心して参加していただけるよう会則を設けてます。

そして、どこの集まりよりも雰囲気のよさには定評の素敵な会なんです。いろんな方と会い、悩みを当会で発散させましょう。

こんなことしてます

２か月に1回、定期的に例会を開催しています。

参加者は、約20名で、とてもアットホームな集まりです。

関西医大に受診した後、参加してもらえるよう、関西医大の近くでおこなっています。

なお、現在関西医大ＧＩＤクリニックは新規による受診を行っていないため、関西医大ＧＩＤクリニック関連機関の受診者も受け入れております。

例会は「バレンタイン・新年会」から始まり、「バーベキュー」、「クリスマス・忘年会」など年間を通して、企画が盛りだくさん！？　４月の例会のみ、どなたでも参加いただくことができるようになりました。

各々の雑談から始まり、ある程度参加者が揃うと自己紹介と近況報告をします。オチをつけることがお約束？でツッコミもある関西のノリで和気あいあいとした雰囲気です。

参加者同士のコミュニケーションを大切にしておりますので、参加者全員でおしゃべりしながら買出しもしてるんです。

最後は、食事をしながら日常会話がメインで、笑いあり、まったりありの堅苦しさがないのが特徴だったりします。たまには、少しはめを外したりも！？

参加資格（安心して参加できるためのルール）

参加資格は、「①関西医大ＧＩＤクリニックの受診者　②関西医大ＧＩＤクリニック関連機関の受診者　③これから関西医大ＧＩＤクリニック、および関連機関を受診しようと思われている方　④①～③のパートナー、ご家族　⑤ＧＩＤクリニックの関係者、および医療従事者　⑥「まんまるの会」に参加したことのある受診者が責任を持って紹介できる方」となっています。

問い合わせ

まんまるの会窓口（世話人）

info@kanmaru.org

※世話人がメールにて対応します

NPO法人
LGBTの
家族と友人をつなぐ会

「LGBTの家族と友人をつなぐ会」は
LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、
トランスジェンダーなど、性的マイノリティの人々）の
家族や友人などによる会です。

こんな活動をしています

ミーティング　　*神戸・東京・福岡・名古屋 にて開催*

・会場の都合上、参加ご希望の方は事前にご連絡いただけると嬉しいです。

（参加費500円をお願いしています）

申し込みは、ホームページから（http://lgbt-family.or.jp/）

啓発活動　　*中高生向けパンフレットの作成・配布など*

・教職員向け冊子への協力や、各地で講演活動を実施しています。

調査・提言活動　　*アンケート調査の実施*

・議員へのアンケート調査、ミーティング参加者へのアンケートも実施しています。

・公職者の不適切な発言への抗議文送付や、被災地におけるセクシュアル・マイノリティへの配慮申入れなども行っています。

会員募集中！

・私たちの活動を応援してくださる方々の参加を歓迎します。

年会費

●正会員　（個人）1口10,000円　（団体）1口20,000円 /賛助会員 1口　1,000円

コミュニティスペース

そらにじひめじ

〒670-0922 兵庫県姫路市二階町3
姫路駅から徒歩10分 二階町商店街東詰すぐ
TEL:050-3746-4571
ホームページ:soranijihimeji.wordpress.com
Twitter:@himejilgbt Facebook:soranijihimeji
Mail:soranijihimeji@gmail.com

そらにじひめじは、2016年から活動しているLGBTのグループ「姫路 LGBT交流会」がLGBTを取り巻く様々な人権課題に取り組もうとする中で、 LGBT以外のコミュニティとの関わりが深くなってきたことや、LGBTの抱え る生きづらさが他のコミュニティに属する人々が抱える生きづらさでもあると いうことに気づいたことから立ち上げた「みんなのスペース」です。

＜LGBT当事者による人権啓発活動＞

Rainbow奈良Cafe

「自分らしく生きる道～人とひととの繋がりの場～」

現代、「LGBT」ってよく耳にする言葉ですが、LGBTの知識や理解が人権問題として、必要不可欠な時代になってきています。
当事者として何か社会のために出来ることはないだろうか？体験談も踏まえ「LGBT」の基礎知識や「LGBT」の現状や社会や学校現場ではどうあるべきかお話しさせていただきます。

Lesbian（レズビアン）
Gay（ゲイ）
Bisexual（バイセクシュアル）
Transgender（トランスジェンダー）

RainbowならCafe

①LGBT交流Cafe
②コミュニティスペース
③意見交流会
④LGBT絵本や教材づくり
⑤LGBT啓発活動

奈良県でもLGBTの当事者や様々な悩みを持って生きている人がたくさん居ます。
ですが、奈良県に「つながる場所」がないのが現実です。
「１人で悩む人をなくしたい
「自分らしく自信を持って生きて欲しい」
そんな思いを込めて、この場所を作りました。

＜代表メッセージ＞
奈良県でもLGBTの当事者や様々な悩みを持って生きている人が周りにいてます。自分自身も学生時代は周りにカミングアウトできず悩みました。奈良県でも「つながる場所」が少ないのが現実です。奈良県外の方も是非お越しください！

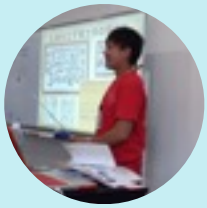
＜お問い合わせ先＞

LGBT支援団体RainbowCreate
☎080-44851222
rainbowcreate0123gmail.com

＜LGBTセミナー＞

・人権啓発活動
・学校教育

＜当事者の体験談＞



＜グループワーク＞

・LGBT絵本ワーク

セクシュアルマイノリティとセクシュアルマイノリティを理解する人のグループ

特定非営利活動法人 チーム紀伊水道 Team Kii-suidoh

チーム紀伊水道て何やってるの？

主に5つ、やってます。

①Webサイト制作・管理・運営……逐次更新・情報発信してますので覗いてみてくださいね。

②eメールまたは面談による相談……随時受け付けてます。無料です。お気軽にどうぞ。

③定期的な交流会の開催……和歌山市・橋本市・田辺市で開いています。攻撃の意志を持つ人でなければどなたがいらしても大歓迎！ 1コイン（500円。会場費、お茶・お菓子代）で 気軽に参加できます。飛び入り参加、途中入退場OK。

④各種イベント開催……講演会やワークショップなど、不定期ですがいろいろ開催します。

⑤各種イベント参加……ほかの団体のイベントにも顔を出します。

和歌山県主催の「ふれあい人権フェスタ」には毎年参加しています。

・その他楽しいことがあれば、やります。「楽しく」がチーム紀伊水道のモットーです。

どんな人が集まるの？

だいたい、こんな感じの人たちです。

①自分のセクシュアリティに関することで悩んでいる人・悩んではいないけれど思うところがある人

② ①のような人が、家族や親戚や友人や同僚など、身近にいる人

③ ①のような人は身近にはいないけれど、興味がある人

つまり、「セクシュアルマイノリティを理解する・理解したい人」なら誰でも参加OKです。

和歌山県を中心に活動していますが、和歌山県にゆかりのない人が参加しても一向に構いません。

いろいろやってます

Web site
→ http://kii.coron.jp/
Facebook
→ https://www.facebook.com/kii.suidoh/
Twitter
→ @kii_suidoh
E-mail
→ kii.suidoh@gmail.com

2004年12月に発足してからのんびり活動してきました。今後もゆるくやっていこうと思います。
これからもよろしくお願いします。

第13回 関西クィア映画祭 2019

秋に 大阪と京都で 開催予定

性にあたりまえなんてないよ

あなたはどんな性別で暮らしていますか?
恋愛やセックスは好きですか? どんな恋愛やセックス、人との関わり方をしていますか?
「男らしさ」や「女らしさ」が期待されることに、しんどくなった経験はありませんか?
もう既に「男女という制度」の枠組みから出て、自分らしい性を生きている人たちが、沢山います。
典型的であってもなくてもいい。変(=クィア/queer)でもいい。性のあり方は多様だ。私たちは生きていける!
「クィア」を切り口に「性」をテーマにした映像作品を上映する関西クィア映画祭は、
そんなメッセージがあふれる「みんなのお祭り」です。2019年で第13回目をむかえます。

FTMの映画監督 ジュールズ・ロスカムさん

今年は「ジュールズ・ロスカム監督特集」を計画しています。
性別移行やトランスすること、恋人や友人との関係、男性であることと男性特権、といった話から始まり、米国の人種差別などにも迫り、最近では自身の家族の話に行き着く。何本もの映画をとり続けることで、自己と向き合い、広い視点も持ちつつ、着実に前に進んできたクィアの一人が、ロスカム監督だ。
そんなロスカム監督の10年の軌跡を追うことで、単に「トランス男性としてのロスカムさん」ではなく、一人の人間としてのロスカムさんに、出会ってみよう。

『トランスペアレント』 (監督:ジュールズ・ロスカム | 61分 | 2005年 | 米国 | 英語)

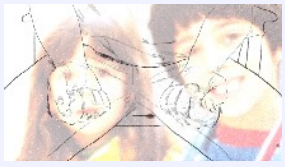
妊娠し出産し、自分で子どもを育てている19人のFtMトランスジェンダーの物語。
「子どもとの関係では父親だけど、父親らしくしたい訳ではない」「自分の妊娠ーそれは他人の妊娠を見ているようだった」「女性の身体に閉じ込められた気がして、妊娠は嫌だった」「よい親であるために、男女で役割に違いがあるとは思わない」「私は親ではあるけど、母親でも父親でもない」
妊娠時に身体とアイデンティティーとの不調和を感じる人もいれば、男子として暮らしつつ妊娠する人もいる。

『トランス物語に抗して』 (監督:ジュールズ・ロスカム | 61分 | 2009年 | 米国 | 英語)

医療によって作られた「トランス物語」を「学ぶ」トランスもいる。
自分の経験を安心して話す場がないから「典型的なトランスジェンダー像」が機能してしまうのでは?
監督は、トランス1人1人の個人史から「FtMの男らしさ」も多様であることを描く。そしてフェミニストやクィア達、トランスたちの自由な会話を通じ、私たち1人1人がより深く理解し合う可能性を探る。性別の自由なあり方を模索するあなたには必見の映画です。

『クィアな仲間の作り方』 (監督:ジュールズ・ロスカム | 85分 | 2012年 | 米国 | 英語)

それはまるで、気のおけない友人達とおしゃべりをしてる気分になる映画。
血縁や法制度によって維持されるのではない「私たち」の人間関係の豊かさや厚みを描きます。
「男だから」「トランスだから」「家族だから」ではなく、一人ひとりが自由に作り出す親密さ。そしてその曖昧さと複雑さ。ロスカム監督の、愛と家族についての挑戦を見てみよう。



『パパのやり方』 (監督:ジュールズ・ロスカム | 82分 | 2018年 | 米国 | 英語)

いつも疎遠な父。大好きな母。噛み合わない兄。そして祖父。
両親の旅路を辿るなか、過去の暴力や痛みと向きあうロスカムが、対話の積み重ねを通じて「家族」を見出していく。映し出されるホームビデオや美しい自然の風景、感情をかたどったようなアニメーション。パッチワークのようにつなぎ合わせたロスカムの記憶に誘われ、私たちもまた、自分にとっての家族を見つめ直す。

ウェブ https://kansai-qff.org/
メール info@kansai-qff.org
電 話 080-3820-2731 (留守電)
FAX 06-7878-8882

feel good

鳥取を、ちょっといい気分に⤴

feelgoodtottori@gmail.com

@feelgoodtottori

@feelgoodtottori

〈団体紹介〉

feel good は、多様性を尊重する、誰もが気分よくすごせる鳥取をつくるため、次の活動をする団体です。

(1)多様な性（SOGI）・LGBT をはじめとする、
　人権に関する講演会・研修会のコーディネート（講師の派遣・斡旋）
(2)映画上映会・ワークショップなどの企画・運営
(3)誰もが安心していられる場づくり（定期的な交流会開催）

〈活動実績〉

2018 年
- 4 月 20 日　設立
- 7 月 28 日　交流会開催
- 9 月 8 日　交流会開催
- 9 月　「Gay Community Paper Fight!!」掲載
- 11 月 17 日　トークイベント・映画上映会開催
- 11 月　鳥取県人権・同和対策課「ふらっと」掲載

2019 年
- 1 月 18 日　鳥取県子育て応援課「みんなのいきかたキャンペーン」寄稿
- 1 月 27 日　交流会開催
- 1 月 28 日　とっとり県民活動活性化センター「いまと、これから」掲載
- 3 月 3 日　米子市男女共同参画センター「かぷりあ祭」登壇
- 3 月 17 日　交流会開催

他、登壇等多数

岡　山　大　学　病　院
ジェンダークリニック　受診者と家族の会

はじめまして

岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会です。

わたしたちの会は、その名のとおり岡山大学病院ジェンダークリニックの受診者と家族を中心とした自助グループです。２０１０年６月から活動を開始しました。

茶話会

わたしたちの会では、**「茶話会」**を2ヶ月に1回、土曜日か日曜日の午後に岡山市内で開催しています。

岡山大学病院を受診中の方や以前に受診されていた方だけでなく、これから受診を考えている方や、他院を受診中の方、受診されていた方、受診を考えている方など、自分の**性別に違和感を抱いている方でしたらどなたでも**参加を歓迎しています。また、**家族、パートナー**の参加も歓迎しています。

毎回１０人前後の当事者が参加しており、それぞれの思いを語り合う場となっています。どうぞ、一度、参加してみてください。

※受診者の家族・パートナーが集まり、気軽に話し合える、家族の方限定の「家族茶話会」も不定期で開催しています。

お問合せ先

わたしたちの会の詳細については会の**ブログ**をご覧ください。

http://ougccircle.blog27.fc2.com/　（ブログ）

また、お問合せは、**e-mail**で。

ougccircle@yahoo.co.jp　（メール）

（このアドレスから返信いたします。　携帯メールからのかたは、このアドレスからの返信が受け取れるように着信設定をしてください）

＜お願い＞

「岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会」は、当事者有志によって自主的に運営されている自助グループです。岡山大学病院との直接の関係はありません。
岡山大学病院へのお問い合わせはご遠慮ください。

スタッフ

わたしたちの会は、２０１９年３月現在、３名（MTF3名）のスタッフで運営しています。

プラウド岡山

はじめまして

プラウド岡山は「**多様なセクシュアリティの共生**」をテーマに、差別・偏見 のない社会づくりをめざして岡山県内で活動する、セクシュアルマイノリティ当事者 やその家族、支援者らによる自助・啓 発グループです。
2014年1月から活動を開始しました。

自助活動

当事者が自分らしく安心して過ごせる居場所づくりを軸に活動しています。定期開催の茶話会のほか、イベントなども企画しています。

啓発活動

岡山市など行政との協働事業をはじめ、教職員やPTA、一般市民向けに研修や講演会への講師派遣も行っています。

茶話会

わたしたちの会では、**茶話会**を2ヶ月に1回、日曜日の午後に岡山市内又は倉敷市内で開催しています。セクシュアルマイノリティ当事者、その家族、支援者の方でしたらどなたでも参加を歓迎しています。毎回30名程度の方がご参加になります。

テーマを決めて話をしたり、セクシュアリティ別や年代別でグループに分かれて話すほか、フリートークで世間話など、内容は様々です。

イベント

不定期で、お花見、スポーツ大会、新年会、忘年会等の**イベント**も開催しています。

お問合せ先

メールアドレス
proud.okayama@gmail.com

プラウド岡山ＨＰ
http://www.proudokayama.com/

ツイッター
@PROUDokayama

プラウド香川

心あたたかくなる時間がここにある。
ありのままの自分でいてね。
いつも、君を待ってる仲間がいるから。
プラウド香川はそんな場所。

プラウド香川は、性的少数者のQOL向上を目的に支援、啓発、交流、発信をしている団体です。

こんなコト、してます。

■交流会

プラウド香川では定期的に交流会を開催しています。

プラウド香川のメンバーと一緒に楽しめる「レインボー交流会」、学生世代中心の「ユースの会」、LGBTQの家族を持つ人のための「家族会」、その他に「お花見」や「忘年会」など季節のイベントも開催しています。
※プラウド香川のメンバーに限らず初めての方もお気軽にご参加ください。

■ミーティング、お茶会やお食事会

メンバーたちとホッとするひととき

プラウド香川では定例会やスタッフミーティングで、真面目なテーマで話し合うこともありますが、その後でメンバーと過ごす和やかな時間も欠かせません。いろんな個性を持った仲間がいるプラウド香川ならではの時間。プラウド香川に入会した際には、どんどん参加してみてくださいね。

■講演会

LGBTQの理解を深める講演会も随時行ってます。

プラウド香川では香川県教育委員会のLGBT研修会や、学校(小・中・ 高・特・大学)などの教育機関で教職員や保護者、学生のための講義・講演会を行っています。また、香川県内の行政機関や、企業のご依頼で、LGBTQの理解を深めるための活動も行っています。
●講演会のご依頼はプラウド香川ホームページよりお問い合わせください。http://proud-kagawa.org

■香川レインボー映画祭

プラウド香川の一大イベント!

「香川レインボー映画祭」は、性的少数者(LGBTQなど)を扱った映画を上映します。国内外から商業映画、自主映画の枠を越え、長編、短編、ドラマ、ドキュメンタリーなど様々な作品が選ばれます。観客と制作者の距離が近い映画祭になっています。そこに集まるたくさんの人たちと映画を観たり、ゲストの話を聴いたり、あらゆる垣根を越えて楽しんでいただける映画祭です。
●詳しい情報は「香川レインボー映画祭」HPをご覧ください。http://kagawa-rff.org/

プラウド香川では
随時会員を募集しています。
イベントに参加して、
情報交換、交流の輪を広げよう！

より詳しいプラウド香川の情報は、
webサイトをご覧ください。

プラウド 香川　検索

http://proud-kagawa.org

お問い合わせ
〒760-0054 香川県高松市常盤町1-3-1
瓦町FLAG 8階
市民活動センター内　19号
メール　info@proud-kagawa.org

SNS、随時更新中！

プラウド香川　でアプリ内検索してみてください。
《プラウド香川に入会すると、メンバーだけのFacebookグループにも参加出来ます。
入会後にご案内いたします。こちらも、ぜひご参加ください》

Follow us!

For LGBTQs

くまにじ

in Kumamoto

法律上の性別が男でも女でも、自分の性別を何と思っていても、また、好きになる人の性別が何でも、1人ひとりが大切にされ、その人らしく生きられる熊本になることを目的に活動しています。

活動内容

○パネル展の開催○

パネルの貸出しも行っております。
貸出しにつきましてはメールにてお問い合わせください。

○行政等への働きかけ○

要請文や陳情書の提出等
研修会や勉強会の講師等

○定期的な公開学習会の実施○

偶数月の第3月曜日19時～
詳細はホームページまたは
Facebookをご覧ください。

Mail:kumamoto.kumaniji@gmail.com
HP:https://kumaniji.jimdo.com/
Facebook:@kumanijiLGBTQs
Twitter:@kuma_niji2017

Facebook　ホームページ　Twitter

“性の多様性の日常化”をめざして

ともに拓くLGBTQ+の会くまもと

私たち「**ともに拓くLGBTQ+の会くまもと**」は、LGBTIQ当事者とその家族や支援者とで構成する熊本のLGBTQ+支援グループです。

私たちはどのような性に生まれようと、自分らしくいきいきと生きていくことのできる社会の実現を夢見て活動しています。

私たちの活動は大きく分けて4つあります。

①LGBTQ+当事者の交流会活動
②一般の人に向けてのさまざまなLGBTQ+啓発活動
③LGBTQ+当事者やその家族等への相談活動
④就労支援

多くのみなさまとの連帯を大切にしながら、幅広く活動していきたいと思っています。

「ともに拓くLGBTQ+の会くまもと」 代表　今坂　洋志

交流会

交流会参加者は、10代から50代以上と様々です。

当事者と家族のみ参加可能なクローズドミーティングと、支援者も参加可能なオープンミーティングがあります。

フリートークやワークショップのほか、料理したり野外で交流したりと、毎月色んな活動をしています。

リラックスしておしゃべりできる場所★

安心安全な『居場所』の提供 ~毎月開催~

参加者の声

（参加者アンケートより）

何でもない話をするのも楽しかったです。また来ます！

グランドルール（交流の場のお約束）の確認があり、安心して過ごせました。

色々なセクシュアリティ（性）のことを聞けて良かったです。

当事者のリアルな声が聴けて勉強になりました。

初参加で緊張したけど、リラックスして過ごせました。

ほっとできる場所。居るだけで、楽しかったです。

講演会　公開講座

年に数回、拓く会顧問の中塚幹也先生などをお招きして公開講座やセミナーを開催しています。

2014. 9. 11第2回公開講座で中塚幹也GID学会理事長の講演

2016. 8. 28公開講座で、平村顧問と今坂代表

「全国性教育研究大会熊本大会」のプレイベント（県民交流館パレア）で、①「LGBT基礎講座」（今坂代表）」②法務省人権啓発教材の上映（日高康晴教授監修）③ウガンダの反同性愛法との闘いの記録「Call me Kuchu」上映④拓く会当事者7名のスピーチを行いました。

拓く会主催第4回LGBT公開講座（熊本大学医学部保健学科）にて①「LGBT基礎講座（今坂代表）」②「熊本県におけるトランスジェンダーの現状と課題（平村英寿顧問）」③拓く会当事者3名によるスピーチを行いました。

初めてLGBTの問題に触れた参加者からたくさんの感想と今後の要望をいただきました。

野外での交流、BBQ楽しかったねー♪

力を合わせてクッキング♪皆で食べるとおいしいね

支援者・参加者のみなさまと♪

気楽に遊びに来てくださいね（^□^）★

そのほか

2017.11九州レインボーパレードに参加しました

活動の企画運営は、スタッフが行っています♪

学校での人権学習の授業

学校でのLGBT出前授業。当事者のスタッフも一部説明をしたり体験談を話したりしました。

拓く会の活動の様子は、ブログでお知らせしています。会の名前などで検索してみてくださいね☆

本会の 活動趣旨に賛同し、支援をしていただける方や、ともに活動していただける方を心よりお待ちしています。

★会員の方は、交流会への参加費が割引になるなど特典があります。ご支援いただく際には、事前に下記連絡先へご連絡ください。

〈会員　年会費〉
一般個人会員 2,000円　（学生 1,000円）
一般団体会員 4,000円
団体賛助会員 1口 10,000円
個人賛助会員 1口 5,000円

〈振込先〉ゆうちょ 銀行
記号 :17100　番号: 32109721
名義 :トモニヒラクエルジービーティアイキューノカイクマモト

ともに拓くLGBTQ+の会くまもと

【ともに拓く会（事務局）連絡先】 運営全般に関すること、ご支援に関すること、交流会に関することなど、事務局へのご質問・ご連絡はこちらへ。

hirakukaikumamoto@gmail.com

※ご連絡の際は、名前（通称可）、メールアドレスや携帯番号をお知らせください。また、ご希望の方には交流会案内等のメール配信をいたします。（会員・非会員を問いません）

【相談専用連絡先】 個別にご相談がある方は、こちらへご連絡ください。代表の今坂からご連絡差し上げます。

・メール　tomonihirakukai@gmail.com
・電話　080-4317-2710／080-3956-6996（緊急時）

≪会の名称変更のお知らせ～わたしたちの理念の再確認の気持ちを込めて～≫

2018年、「ともに拓くLGBTIQの会くまもと」が「**ともに拓くLGBTQ+の会くまもと」に変わります。**

私たちの会は、2013年の設立以来、多くのみなさまの温かい励ましや篤いご支援をいただきながら、性の悩みを抱えて孤立する当事者同士の交流会や支援及び社会啓発活動に取り組んでまいりました。

これまで、「インターセックス」（DSDs：体の性の様々な発達」とも呼ばれる）の人々の「I」も加えて活動し、当事者の方が相談に訪れていただく機会もありました。そのような中、DSDs当事者のみなさまの多くは自分をLGBTQ等の性的マイノリティとは思っていないということや、むしろ、社会から完全な男性・女性とみてもらえないのではないかということを恐れ、必要な支援を得られていないといった状況がわかってきました。私たちは、こういった当事者家族のみなさまの思いを無視するわけにはいかないと思っています。

それから、性的少数者と一言で言っても、LGBTに限らない様々なセクシュアリティの方がいます。そのような「人間の性」を理解するためには、「いのちの性教育」「性の問題行動防止教育」等々よりも、人間の性の幅広い理解をめざす『より包括的な性教育』が必要です。また、社会には多様なマイノリティの方がいて、様々なマイノリティ同士の相互理解が必要とされています。

会名の「＋」は、まさにLGBTQのみなさまに限らずさまざまなセクシュアリティのみなさまや、さまざまな社会的マイノリティのみなさまとともに、包括的な人間の性の理解を拓いていくという意味を込めています。また、この度の変更は、さまざまなみなさまと連帯し、支援や正しい知識の普及啓発をしていくという、拓く会の基本に立ち返るという意味でもあります。

もちろん、DSDsを持つ人々を排除するということではありません。LGBTQ支援とともにDSDsを持つみなさまへの具体的支援にも取り組んでいきたいと考えています。

名称が変わっても、「ともに拓く会」の愛称はそのままです。 これからも、これまでと変わらぬご支援・ご理解をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

（ともに拓くLGBTQ＋の会くまもと　代表　今坂、スタッフ一同）

H30.3作成　第3版

編集後記

LGBT という言葉を知ったのは 10 年前。当時は高校生、インターネットを見ているときに、本当に偶然のことでした。それを機に、自分のアイデンティティを表す言葉としてトランスジェンダーを認識しました。これからの自分のあり方を想像すると、絶望しか生まれませんでした。大学生になって日が浅い頃、岡山で GID 学会第 14 回研究大会が開催されました。気になりつつも、参加する勇気はありませんでした。就職活動など、うまくいかないことの連続ですべてを捨て去った５年前、お節介なある方の計らいで、できたてホヤホヤの自助グループ「プラウド岡山」の茶話会に参加しました。最初はその場に入っていくのが恐ろしかったことをよく覚えています。「こんにちは。」という明るい声かけで、自分はここに来て良かったんだ、大丈夫なんだと心から安心しました。そして今、７年振りの岡山開催となった GID 学会第 21 回研究大会で、GID/トランス当事者全国交流会 2019 実行委員会の事務局をしています。私自身が、当事者/支援者グループに助けられたひとりなのです。

近年、LGBT を取り巻く環境は少しずつ変わってきています。これは法律や医学、教育、その他さまざまな領域における多くの方々の力の積み重ねの賜物にほかなりません。しかし、孤独や恐怖を抱える当事者がまだたくさん存在していることは言うまでもありません。

私に何ができるでしょうか？

あなたに何ができるでしょうか？

私たちに何ができるでしょうか？

立派なことはできないかもしれません。「こんにちは。」と明るく声をかけることしかできないかもしれません。でもそれが、ぽっかり空いた誰かの心に響くこともあるのではないでしょうか。全国の当事者/支援者グループでそうしたささやかな取り組みが引き続き行われ、皆が支えあいながら安心して暮らしていける社会となることを願います。

私が、あなたが、私たちが、できることは何か、これからも考えていきたいと思います。全国のみなさまの取り組みに敬意を表し、編集後記とさせていただきます。本誌の発行にあたりご協力いただいた多くのみなさま、誠にありがとうございました。

GID／トランス当事者全国交流会２０１９　有志実行委員会

全国交流誌担当　ざっきー

『GID／トランス全国交流誌２０１９』

編集　　ざっきー・野原ナオコ

(GID／トランス当事者全国交流会２０１９　有志実行委員会)

発行　　GID／トランス当事者全国交流会２０１９　有志実行委員会

HP: https://peraichi.com/landing_pages/view/gidkouryu2019

e-mail: gidkouryu2019@gmail.com

２０１９年３月　発行